

ご存知ですか？

## 「パイプひずみ計 極細タイプ」

既設管を利用し「細いひずみ計」を再設置する現場が増えています

- 孔内傾斜計用ガイドパイプが曲がって計測不能に！
- パイプひずみ計の経年劣化で計測不能箇所がある！



引き続き計測調査をしたいが

予算不足で新規ボーリングができない..



そんな時！低予算で「調査継続」を可能に！

パイプひずみ計や孔内傾斜計が劣化し計測できない場合でも、この「極細タイプ」を既設管に挿入、一体化させることにより再調査が可能になる場合があります。新たなボーリングの費用を抑え、調査を継続できる手法となりつつあります。

- 他にも径の細さを利用して様々な場面でのご使用が考えられます。

## &lt; 施工例 &gt; 既設管にVP13パイプひずみ計を設置

長年経過し計測不能となったパイプひずみ計やアルミガイド管を利用しての再調査を役所へ提案、採用され施工。

\* 既設のひずみ計 VP40 管、アルミガイド管に VP13 ひずみ計を挿入

\* 触針式水位計（例 ALFA 社センサーφ13mm）は VP20 管でギリギリ挿入可能



セメントミルクで孔間を固定

パイプひずみ計中に設置

アルミガイド管中に設置



パイプひずみ計・各種計測器

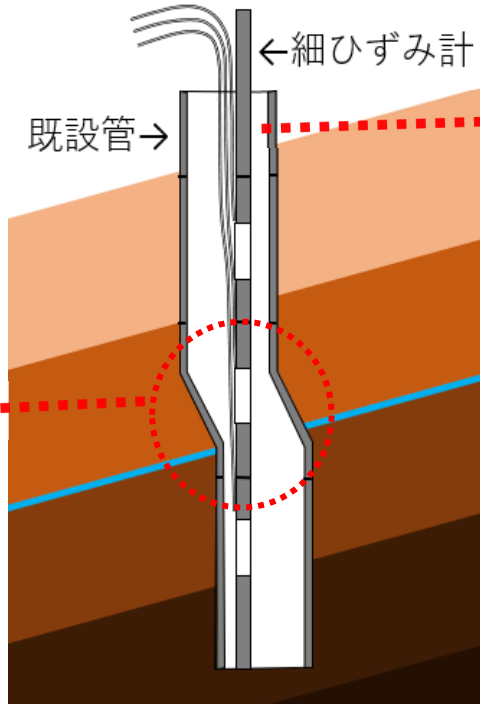
株式会社 東京電機

TEL0268-42-6052 FAX0268-42-6535

ホームページ <http://www.tokyodenki.com>

**設置イメージ図  
(VP40既設管insertVP20)**

パイプひずみ計や孔内傾斜計ガイドパイプ既設管に再設置する場合で孔曲がりや著しい箇所がある時は、何φで挿入可能であるか事前に調査・確認をお願いします。



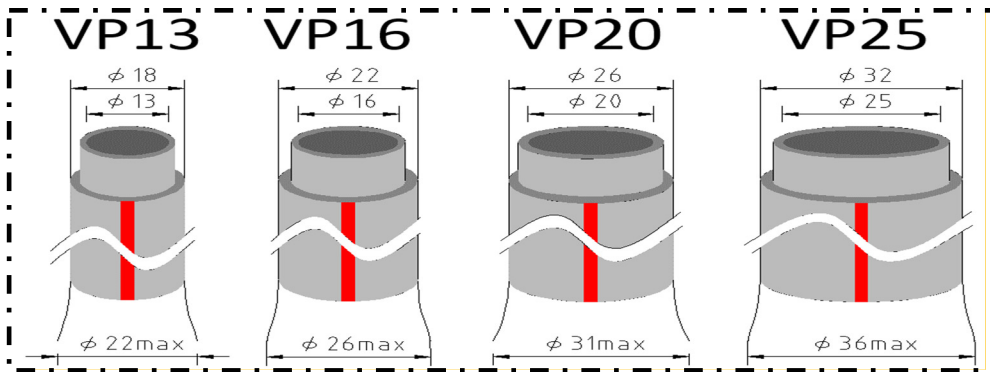
既存管と細ひずみ計間は、砂埋め充填・グラウト注入などで固定。その際グラウトホース分等の余裕を見てください。

**管内コード中通しイメージ**



**VP 管内コード通しイメージ**

**外径寸法図**



**設置外径等早見表**

塩ビ管種類	外径 (mm)	最大外径 (mm)	管内へのコード中通し可能本数	VP40管内に収まるコード本数	触針水位計挿入可否
VP13	φ18	φ22 (φ23)	7本(9本)	35本(50本)	×
VP16	φ22	φ26 (φ27)	10本(13本)	25本(40本)	△
VP20	φ26	φ31 (φ32)	15本(18本)	20本(30本)	○
VP25	φ32	φ36 (φ37)	25本(30本)	5本(×)	○
VP30	φ38	φ42 (φ43)	35本(50本)		○

\* ( ) は新型3丸コードの場合

\* 3平コードの場合 (3丸コードや2方向4ゲージ6丸コードの場合はお問い合わせ願います)

\* 設置本数には限りがあります。既存管の事前調査と早見表からひずみ計の設置点数をご検討願います。  
(お問い合わせ願います)

**寸法図**

